

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	国際連携戦略推進費		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	国際連携課		課長 戸田英作	
会計区分	一般会計		政策・施策名	2. 地球環境の保全 2-2 地球環境保全に関する国際連携・協力			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法第5条 (国際的協調による地球環境保全の積極的推進)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	各国や関連国際機関のポジション及び国際的な議論の動向を精査し、また「経済」「社会」と「環境」との関連性も考慮したうえで、国際社会に対する知的貢献、建設的提案を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国連持続可能な開発会議(リオ+20)に係る各国政府、国際機関(国連、OECD等)のポジション、取組状況等に関する調査分析、及び国際環境戦略の検討、及びリオ+20に向けて政府及び関係する全てのステークホルダーの参加する「リオ+20国内準備委員会」の運営業務を実施。また、環境と貿易に関する包括的な調査分析、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)をはじめとする経済連携協定が我が国及び関係各国の環境に与える影響等の分析調査を実施。加えて、我が国の環境施策に関する情報を海外へ発信していくための戦略の策定や、既存のウェブページの改善を実施。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	-	70	68	76	102
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	70	68	76	102	
	執行額	-	62	75	-	-	
執行率(%)	-	89%	110%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	国際連携戦略の推進に関する成果を数値で表すことは困難。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	国際連携戦略の推進に関する活動指標・実績を数値で表すことは困難。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
					( - )	( - )	( - )
単位当たりコスト	- (円/ - )		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費	74	100	国際環境戦略の検討に係る経費については、地球温暖化対策の目標設定の節目となる2020年を見据えた国際環境戦略とロードマップの検討のため必要な経費を拡充した一方で、事業の統合による合理化を図ることで、全体としては減額した。また、我が国が2014(平成26)年にOECD加盟50周年を迎えるに当たって国際セミナーや、国連環境総会及び国連気候変動枠組条約締約国会合においてイベントを開催するため、戦略的国際広報の推進に必要な経費を拡充した。さらに、国連環境計画や経済協力開発機構等の国際機関や米国、欧州連合等の先進各国政府との政策対話を推進するため、必要な経費を新規で計上した。			
	委員等旅費	2	2				
計	76	102					

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	国際社会における持続可能な開発の実現に向けた今後の方向性を決める重要な会合であるリオ+20や、TPP等の貿易協定における交渉については、国益に大きく関わる案件のため、国が戦略的に検討していくべき事項である。また、我が国の環境施策を海外に戦略的に発信していくことは、国が率先して取り組むべき事項である。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	事業を実施する委託・請負業者については、競争入札等を実施し選定している。また、資金の使途が当方の目的にかなったものになるように、業者との調整を定期的に行いながら、事業を実施している。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	リオ+20に関する総合的な情報収集・分析・調査を行い、我が国が交渉会合へ臨む際の戦略策定に貢献した。環境と貿易に関しては、具体的な進捗を見せる日加EPAやTPP等の交渉へ向けて、国内の環境施策とこれら貿易協定との関わりを整理し、国益を最大化できるよう準備を進めた。また、国際広報に関しては、具体的改善に向けた戦略を策定した。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-			
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名
点検 結果	国際連携戦略の構築は、国際社会における各国及び政府機関等のスタンスに関する最新情報を収集したうえで、事業の効率的実施に十分配慮しつつ、その時々々のニーズに応じて進めていく必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
国際連携戦略推進費 <a href="http://www.env.go.jp/guide/budget/h25/h25-gaiyo/094.pdf">http://www.env.go.jp/guide/budget/h25/h25-gaiyo/094.pdf</a>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新23-001	平成24年	019

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省  
75百万円

この他、事務経費として7.3百万円執行

- ・「リオ+20」の主要テーマに関するフォローアップ及び「環境と貿易」に関する戦略検討
- ・環境政策に関する戦略的国際広報の推進

【総合評価入札／請負】

A (株)三菱総合研究所  
41百万円

- ・リオ+20に関連する国際環境政策の動向に係る基礎調査
- ・サブスタンス支援
- ・リオ+20国内準備委員会運営業務
- ・グリーン経済に関するシンポジウム運営業務
- ・リオ+20結果報告会の準備・運営業務
- ・リオ+20成果パンフレット

【総合評価入札／請負】

B 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)  
10百万円

- ・貿易と環境に関する戦略的検討調査
- ・サブスタンス支援
- ・関連会議(国内・海外)の準備・支援業務

【総合評価入札／請負】

C (財)地球・環境人間フォーラム  
6百万円

- ・UNEP/IETC拠出金に関する外部有識者検討会運営業務

【総合評価入札／請負】

D (株)自然産業研究所  
6百万円

- ・環境省の国際広報戦略案の作成
- ・国際広報に適した環境省英語版ウェブサイトの改善提案
- ・環境省英語版広報誌の作成

【少額随契／請負】

E (公財)地球環境戦略研究機関  
1百万円

- ・持続可能な開発目標(SDGs)に関する基礎調査
- ・SDGs準備検討会運営業務

【少額随契等／請負】

F 民間企業等(4社)  
3.7百万円

- ・国際会議における翻訳・通訳業務
- ・国際携帯電話の利用等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)



支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	平成24年度リオ+20関連国際動向基礎調査及び国内準備委員会等運営業	41	1	99.6

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	平成24年度貿易と環境に関する戦略的検討調査業務	10	2	83.65

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球・環境人間フォーラム	平成24年度国際連合環境計画拠出金等に関する外部有識者評価委員会運営業務	6	1	98.93

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)自然産業研究所	平成24年度ウェブサイト及び広報誌を用いた環境省の国際広報戦略案の作成等業務	6	1	62.79

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)地球環境戦略研究機関	平成24年度持続可能な開発目標(SDGs)検討調査等業務	1	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サイマル・インターナショナル	通訳業務	2.3	1	—
2	(株)アーバン・コネクションズ	翻訳業務	1	随意契約	—
3	(株)JCNT	海外用携帯電話利用料	0.3	随意契約	—
4	(株)リンクトラスト・サイマル	翻訳業務	0.1	随意契約	—